

第7回 (仮称) 市民図書館のあり方検討委員会【議事録】

平成24年11月12日(月)14:30~16:10

明石市役所本庁舎8階804会議室

出席委員 : 廣岡会長、小寺副会長、宮本委員、高濱委員、大西委員、志磨委員、河井委員、酒井委員、大丸委員

欠席委員 : 八木委員、斎藤委員、菊川委員

明石市 : (教育委員会事務局) 鈴見次長、合田係長、熊谷主任、河野事務職員
(事務局: 青少年教育課)

事務局支援 : (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社) 1名

傍聴者 : 4名

資料 : 次第

資料 1 (仮称) 市民図書館整備基本計画(素案)

資料1の2 (仮称) 市民図書館整備基本計画(素案)・概要版

資料 2 (仮称) 市民図書館のあり方に関する提言書(素案)

資料 3 イベント等のソフト事業のあり方

【議事・次第】

1. 開会

2. 議事

(1) 管理運営のあり方について

(2) イベント等のソフト事業のあり方について

(3) 他施設・他機関との連携のあり方について

(4) (仮称) 市民図書館整備基本計画(素案)について

(5) (仮称) 市民図書館のあり方に関する提言書(素案)について

(6) その他

3. 閉会

1. 開会

2. 議事

(1) 管理運営のあり方について

事務局

【資料1】のP32～P34をもとに説明。

会長

- ・ P32(ア) c 「気軽に相談できる職員」となっているが、全職員でそのような気持ちを持つということなので、「気軽に相談できる体制を整える。」としてはどうか。
- ・ 同様に、P33(ウ) b 「子どもが気軽に相談できる児童書コーナー」についても「子どもが気軽に相談できる体制を整える。」とした方が良いと思う。

(2) イベント等のソフト事業のあり方について

(3) 他施設・他機関との連携のあり方について

事務局

【資料1】P35～P37、及び【資料3】をもとに説明。

会長

- ・ 資料3全体について、主なものを各委員から簡単に紹介してもらいたい。

委員

- ・ 声で聞く文学としてのおはなしを図書館で担当しており、子どもだけでなく「大人向けのおはなし会」を提案させていただいたが資料3に反映されていない。

事務局

- ・ 前回の検討委員会でご意見については、資料1のP36からP37に反映している。

委員

- ・ 子ども向けのおはなし会については、専用の部屋で大人から離れて子供だけが部屋に入って話を聞くものであり、現在、明石では月に2回行っている。
- ・ おはなし会に加え、図書館へ親子連れや子どもが来たときには、その子どもにあった方法、その時々に適した方法で、職員やボランティアが読み聞かせを行う。これは随時、行えばよいと思う。

委員

- ・ 資料3、P1の2-7「明石図書委員おすすめコーナー」、8「市民の皆さんのおすすめ本コーナー」、個人だけだと読む本の内容が偏るので色々な本のジャンルをざっくばらんに話し合う9「本の井戸端会議」を提案させていただいた。
- ・ また、明石には特産物がたくさんあるので、P3の3-15「明石の一年 海・空・大地」を、さらにP5の5-2「著名人の本棚」を提案させてもらった。

委員

- ・ 資料 3、P 1 の 1-4 「ワイン塾」を提案した。
- ・ P 2 の 2-11 「トークアバウト〇〇（まるまる）クラブ」と「おはなしクラブ」は、資料 1 の P 22 基本理念「青少年や子どもの健やかな成長を応援し、導く図書館」の事例で、「(ウ) 青少年や子どもが本にふれあい、本に親しむ環境の構築」を意識し、交流の場について考えた。本について、ディベートではなく、ディスカッション形式で話し合いができればと思う。
- ・ 3-2 「オープニング講演」、8 「明石歴史さんぽ」を提案した。
- ・ P 3 の 3-12 「シゴセンジャー宇宙（そら）のおはなし」について、いつもは天文科学館のみで会えるシゴセンジャーに、時には図書館に来て話をしてほしいという思いで提案した。
- ・ 13 「知りたい（鯛）あかし」、P 4 の 18 「愛のあかし～源氏物語の世界を読み解く～」、19 「書道展」、24 「私と本」、25 「大人のための読み聞かせ～音楽と朗読～」、26 「大人のための読み聞かせ～朗読とカウンセリング～」、28 「図書館 de 歴史プチ旅行」、29 「世界遺産をめぐる」を提案した。
- ・ P 5 の 3-31 「絵本 de 親子クッキング」は、市民からの要望でもあるが、題名を考えた。
- ・ 36 「おしごと しよかい？（紹介）」は、子ども向けに市内の企業等と連携し、仕事に関することを紹介していただくというものである。
- ・ 37 「漢字のなりたちを知ろう」を提案した。
- ・ 5-3 「あなたの問題即解決！」は、レファレンスサービスについてあまり知られていないというアンケート結果を踏まえて提案した。
- ・ 読み聞かせの重要性を鑑み、P 6 の 5-4 「既存イベントの継続・充実」も提案した。

委員

- ・ 資料 3、P 1 の 2-3 「ご招待」を提案した。
- ・ 5 「赤い石探訪」は明石の昔話を基に考えた。
- ・ P 4 の 3-23 「詩のコーナー」、P 5 の 5-1 「明石本の棚」を提案した。「明石本の棚」は魚の棚商店街にかけてネーミングした。

委員

- ・ 資料 3、P 2 の 2-4 「時のまち明石」、5 「海峡のまち明石」、6 「歴史のまち明石」を提案した。明石のキャッチフレーズは「時・海峡・歴史」で、皆さんの意見も大体この 3 つに当てはまると思う。この 3 つを中心にして色々なイベントを考えていけば明石らしさが出てくる。その時々でテーマを決めて、また世間で話題になっているテーマをすぐに取り入れる。例えば姫路市は黒田官兵衛を取り上げている。明石もまもなく市制 100 年、明石城築城 400 年を迎えるので、市ができた当時を振り返ることもできるのではないか。図書館でイベントをする場合には「時・海峡・歴史」から色々な

ものを派生させていけば良いと思う。

委員

- ・資料3、P1の2-10「児童室に子どもボランティアを配置」は、トライやる・ウィークよりも、簡単に、より多くの方が交代で参加でき、継続して取り組めるということで考えたものである。
- ・P2の3-1「オープニング・イベント」について、東京子ども図書館理事長の松岡享子氏や、作家の瀬戸内寂聴氏の講演会を提案した。
- ・P3の3-16「大カルタ大会」のようにイベントも継続して取り組むと面白いと思う。
- ・P4の3-17「文学の朗読」について、提案した。
- ・図書館であることが分からなくなるのは不本意なので、P6の5-6「(仮称) 市民図書館のネーミング」も提案した。

委員

- ・資料3、P1の2-1「まちブラ、図書館」と2「ビブリオタウン」を提案した。1は、明石にも古い建物があるが、建物があることに気づいても通り過ぎるだけになっている。そういった建物について、建物のいわれがわかるものや、建物に関連した本を置くような仕掛けがあればよいと思う。2はそのネーミングみたいなものである。
- ・P2の3-7「あかし楽(がく)」だが、特にこだわったのは学ぶというより明石を楽しんでいただきたいということである。このように大きなテーマを持っているとその中で色々なテーマが発展できるのではないかと思う。

会長

- ・資料3、P2の3-9を提案したが、他の委員が言われていることと内容はほぼ同じで、「明石学」的なものについては皆さんの中で共通した認識を持っておられるように思う。
- ・P4の3-21「市内企業等との連携事業」について、事例として、酒蔵で酒と文学の講座を聞くというような会を挙げた。同様に、色々な企業に連携事業を考えていただくことができるのではないかと思う。

副会長

- ・図書館でのイベントは非常に難しい。(仮称) 市民図書館について、東京子ども図書館理事長の松岡氏からアドバイスをいただいているが、色々なイベントを実施している東京子ども図書館と連携が取れるのであれば、その関西版を明石でやるということも考えられる。

会長

- ・色々なまちで「読書のまち宣言」というのを大きく打ち出しているが、もう全国では10を超える事例があり、宣言することで市民に啓蒙・啓発をしようとしている。市としてどうしていくのか考えていただければと思う。

- ・今回、各委員から提案のあったソフト事業については資料として付けていただいて実際に運営するときの参考としてほしい。

会長

- ・図書館のネーミングはどうするのか。

事務局

- ・本検討委員会においても、児童書コーナーについては「みなくる」の名前を残してほしいという議論があったが、来年度以降に、再開発ビル全体として考え、再開発ビル、そして図書館についても何らかの愛称を検討していくことになると思う。その際には、多くの市民の意見を取り入れたい。

会長

- ・来年度以降、ネーミングについて考える時には、我々の意見も踏まえて検討いただきたい。

事務局

- ・資料1の（仮称）市民図書館整備基本計画（素案）については、資料1のP35～P37について本日のご意見をふまえ修正し、会長に確認をいただきと思う。
- ・そして、確認いただいた基本計画（素案）について、11月から12月にかけて教育委員会と議会、1月にはパブリックコメントで市民から意見を頂き、第8回の検討委員会にて市民等のご意見を反映した基本計画（案）をお示しし、再度検討委員会のご意見をいただければと思う。

会長

- ・本日の意見を反映した資料の確認について、私にお任せいただいてもよろしいか。

委員各位

- ・同意

（４）（仮称）市民図書館整備基本計画（素案）について

事務局

【資料1】、【資料1の2】をもとに説明。

会長

- ・議論を積み上げる中で、資料1を作り上げてきているが、特に意見があれば議論したい。

委員

- ・内装について、床は絨毯か、木の床か。絨毯は不衛生なので、できれば木の床を希望したい。木の床だと足音がすると思うが、マナーを育てるという意味もあって良いと思う。

事務局

- ・内装や仕上げに関するところは、現時点では正式には決まっていない。基本的にはフロアカーペットになるが、他の図書館を見ると、木製もあれば、絨毯やフロアカーペットなど色々ある。それぞれ一長一短があるし、費用の問題もある。木の床の場合は、音の問題が課題だということも聞いている。

会長

- ・この計画の中に書き込むのは難しいが、機会があれば私の方から口頭で申し上げたい。
- ・先ほども同意いただいたが、(仮称) 市民図書館整備基本計画(素案)のうち、「ソフト事業のあり方」等については、本日の議論を踏まえて私にらせていただけたらと思う。

(5) (仮称) 市民図書館のあり方に関する提言書(素案)について

事務局

【資料2】をもとに説明。

会長

- ・本資料は、(仮称) 市民図書館の理念に関連する内容であるので、格調高い内容にしたいと思っている。順番に読みながら確認して、意見を伺いたい。
- ・「前文」音読。
- ・4行目「複数実施」は「複数回実施」に修正をお願いしたい。

会長

- ・「提言」音読。
- ・「1 基本理念について」の最後の「望みます。」は「提言します。」ではないのか。

事務局

- ・他市の事例では「望みます。」が多く、このような表現としている。

会長

- ・「2 基本方針について」音読。
- ・IT化についてはあえて入れずとも、情報提供の中に含まれていると読めるから良いだろう。

会長

- ・「3 ゾーニング及びレイアウトについて」音読。
- ・委員会として、4階案に絞るのは難しいか。

事務局

- ・階の変更については本委員会で発議頂き、4階案と6階案の両論で検討が進んでいる。階のフロア構成も含めて、再開発ビル全体については中心市街地活性化推進室が主体となって調整しているところである。(仮称) こども健やかひろば施設整備検討委員会

では、階について様々な意見が出ており、こちらでも両論併記で議論していると聞いている。

- ・最終については、第8回（仮称）市民図書館のあり方検討委員会の時点で階が決まっていれば書き換える。その時点で未定であれば市に委ねていただければと思う。

会長

- ・両論併記ということは、本委員会の要望が対案として、受けとめられたということだと思ふ。

会長

- ・「4 （仮称）市民図書館を核としたまちづくり」「5 図書館運営の方針について」音読。
- ・特にご異議がなければ、基本的な構成等については、これで提言書とさせていただくことで了解をいただきたい。

委員各位

- ・同意

(6) その他

事務局

- ・スケジュール説明。

会長

- ・提言書については、是非もう一度読んでいただき、抜けているところ等あれば事務局に連絡いただきたい。

事務局

- ・次回の検討委員会は2月12日（火）13：30開催予定。会場は後日連絡。

会長

- ・以上で第7回（仮称）市民図書館のあり方検討委員会を終了する。本日はありがとうございました。

以上